

第10回北秋田市産業祭が「掘り起こそう地域の宝 未来に繋げる技術と資源」をテーマに、10月22日・23日の2日間、鷹巣体育館を会場に行われ、農・商・工全般にわたる展示品の観覧や特産品を買い求める多くの市民でにぎわいました。



第10回 北秋田市 産業祭

掘り起こそう地域の宝 未来に繋げる技術と資源



①秋田北鷹高校書道パフォーマンス／②やまのいもとろろ飯大食い大会
③木製自動車体験試乗／④秋田県特別支援学校発表会
⑤びっくり商業祭／⑥農産物品評会



市内事業者による企業製品の展示

産業祭は、市全体の地場産業の振興や地域経済の活性化を図るため、市や商工会、JAなどで組織する実行委員会の主催で行われているもので、10回目を迎える今回のテーマは「掘り起こそう地域の宝 未来に繋げる技術と資源」。会場には市内の59事業所が出展し、67ブースが設けられ、展示や販売を行いました。

「市の産業の魅力を感じ、体験してほしい」～虹川副市長

22日の午前10時に体育館入り口で行われた開会セレモニーでは、主催者を代表して虹川副市長が「産業祭は、農業、工業、商業の各分野で日ごろ努力している皆さんの高い技術力、伝統を一般の方にも知ってもらうことを目的に開催している。北秋田市のあらゆる世代が参加する産業祭であり、ご来場の皆さんには、ぜひとも北秋田市の産業の魅力を感じ、体験していただきたい」などあいさつ。このあと、代表者によるテープカットで開催を祝いました。

●農産物品評会に302点

農産物品評会には、302点の農産物が出品され、その中から市長賞をはじめ、JA鷹巣町組合長賞、JAあきた北央組合長賞、秋田県たばこ耕作組合長賞の1等賞に11点、2等賞に20点、3等賞に24点が選ばれた。

●会場ではさまざまな展示と盛りだくさんの催し

館内では、農産物の展示、事業者による企業製品の展示や販売、秋田内陸線のPR、鷹巣・北秋田建設技能組合による実演、鷹巣技術専門学校、自衛隊・警察広報展、市内の保育園の園児による絵画展などが行われました。また、サブ体育館の「びっくり商業祭」では、農産物やお菓子、スポーツ用品などが格安販売されました。

駐車場では、自衛隊・警察・消防車両展示、日立建機重機展示、地震体験車コーナー、鷹巣技術専門学校製の木製自動車（ロールス・ロイス）の体験試乗コーナーのほか、B級グルメコーナー、JA女性部食堂、苗木・堆肥販売、秋田犬ふれあいコーナーが設けられ、家族連れなど大勢の来場者でにぎわいました。

ステージでは、「やまのいもとろろ飯大食い大会」や「秋田県特別支援学校発表会」、北秋田市の特産品であるバター餅に関する知識などを競う「バター餅トライアスロン」産業祭が行われたほか、産業祭では恒例となった「坊沢の豆腐早食い競争」、秋田北鷹高校書道部による書道パフォーマンスといったバラエティに富んだステージイベントが繰り広げられました。

ました。22日に行われた表彰式では、1等賞を受賞された方々に、九嶋産業部長や各団体の代表者から賞状と記念品が手渡されました。

【市長賞】(2点)

▽山の羊(長崎琢未さん・七日市)



▽きゅうり(金勝彦さん・本城)



【JA鷹巣町組合長賞】(4点)

▽大豆(農事組合法人坊沢営農組合)
▽長ねぎ(山内茂さん・向黒沢)
▽ジャンボいんげん(亀山春樹さん・田沢)
▽ベイナス(佐藤利子さん・与助岱)

【JAあきた北央組合長賞】(4点)

▽りんご(伊東忠敏さん・杉山田)
▽トマト(柴田豊吉さん・本城)
▽ほうれん草(南大野台グリーンファーム)
▽スプレー菊(根田洋子さん・長野)

【秋田県たばこ耕作組合長賞】(1点)

▽葉たばこ(豊村清さん・美栄)

●BMセレクション2016プロコンテスト

今年度もプロが作るバター餅のコンテスト「BMセレクション2016プロコンテスト」が行われました。同コンテストは、来場された方の中から、先着300人が審査員となり、バター餅を製造販売する市内6社のバター餅を食べ比べ、一番おいしいと思うバター餅に投票し、票が多かった上位4社をBIG4に認定するものです。

審査の結果、BIG4は「大川米屋」、「精まい家」、「鷹松堂」、「高関製菓」の4社に決定しました。

この後、BIG4の関係者も参加し、エンディングの北あきたバター餅の餅まきが行われ、2日間にわたる産業祭の最後を盛大に締めくくりました。



▲北あきたバター餅の餅まき